



田川商工会議所だより TAGAWA

2025 新年号

発行/田川商工会議所

〒826-0025
福岡県田川市大黒町3-11
TEL 0947-44-3150
FAX 0947-45-6073
URL : <https://www.tagawa.or.jp>

令和七年 新年祝賀会を開催

1月6日(月)、田川市民会館において、会員事業所をはじめ、地域各関係団体等より約130名の参加者が集い、恒例の新年祝賀会が開催されました。

祝賀会は津島副会頭の開会のことばに始まり、出席者全員で国歌を斉唱、続いて主催者を代表し亀川会頭が新年のあいさつをいたしました。

あいさつでは冒頭に、今の世界情勢は戦争や紛争に加えアメリカ大統領の交代、韓国の非常戒厳と世の中が混とんとしており、わが国も不安定な情勢の中で経済活動を余儀なくされエネルギー価格や原材料価格の高騰により十分な利益がないままに国が進める最低賃金の引き上げは中小企業、小規模事業者の経営を苦しめていると述べました。国が求める時給1500円の賃金に対して「時給1500円の賃金を支払えない経営者は失格」との経済同友会代表幹事の持論に、九州の商工会議所が抗議したことを述べ、円安やインバウンドの恩恵を受けている

都市部の大企業と地方の中小企業とでは意見が対立しており、これからの必要ない意見は伝えていかなければならないと述べました。

従業員が福利厚生のため、当所が実施している永年勤続従業員表彰式も今年で70回を迎えるにあたり、これまで永年勤続従業員表彰式に参加されていない会員事業所があれば、人材確保の為や長年勤めている従業員さんへ感謝の為、またそれに続く後輩のため、是非今年に参加していただきたいと述べられました。

女性の活動について昨年は20年ぶりに当所が主管となり、県内の女性会が福岡県立大学に集い意見交換会や合同講演会を開催し、青年部についても10年ぶりに福岡県商工会議所青年部連合会会員大会を田川文化センターにおいて開催し、地域の賑わい創出に貢献していることを紹介しました。

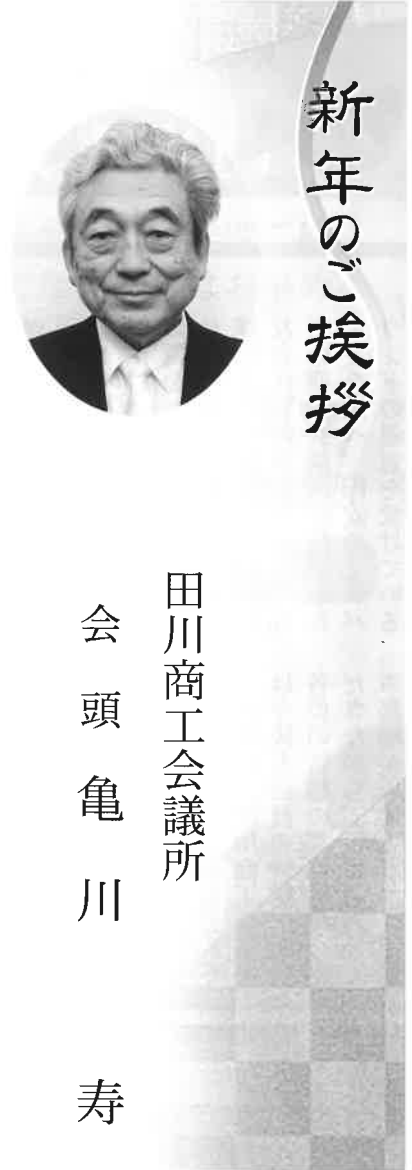
最後に、田川商工会議所は今後も会員の皆様、関係各位の皆様のご協力をいただきながら、役員議員及び事務局が一体となって邁進

してまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様の益々のご発展とご健勝とご多幸を祈念いたしますとあいさつを締めくくりました。

その後、村上卓哉市長の新年の挨拶に続き、参加者を代表して、村上智信衆議院議員、秋野公造参議院議員、武田良太元総務大臣それぞれから祝辞を頂いた後、歓談に入り、出席者は新年の抱負やお互いの近況などを語り合いました。最後に津島副会頭による閉会のことばで祝賀会を盛会裏のうちに終了しました。



新年のご挨拶



田川商工会議所

会 頭 亀 川 寿

新年あけましておめでとうございませう。

会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、当所の事業運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の我が国経済は、回復基調を見せつつも、世界的な経済変動や物価高騰の影響を受け、いくつかの重要な課題に直面した一年となりました。急激なコストの高騰により、価格転嫁が進む一方で、価格に見合った商品・サービスの付加価値向上が常に求められています。また、少子高齢化や労働力人口の減少、働き方改革の進展に伴い、生産・供給能力の拡大が難しく、そうした状況の中で最低賃金の引き上げは、小規模事業者、中小零細企業の経営を圧迫しております。その一方で観光業を中心にインバウンド需要が回復し、地域経済にも明るい

兆しをもたらしましたが、田川地域では経済回復の実感が乏しく、地域内需要の喚起と持続的発展が課題となっております。地域浮揚のためには、会員の皆様

の持つ知恵や経験、そしてコミュニティ全体での連携が必要不可欠であります。地域のつながりをより一層深め地域全体で一体感を持ちながら、商工業の発展と持続可能な社会の実現に向けて、田川商工会議所は、地域経済の発展を支える柱として、皆様の挑戦を全力で支援してまいります。

そのような中、田川商工会議所では、国からのコロナ対策交付金が終了して予算確保が厳しい状況でしたが、「プレミアム付き商品券（たがわ元気再生振興券）」と「キャッシュレス商品券（たがわベイ）」を総額1億円発行しました。どちらも販売予定数を超える応募を頂き、抽選販売を実施いたしました。振興券発行については、広く地

域住民の間で定着して、市内商工業者、商店街からも継続を望む声が強くなっていますので、今後と引き続き要望してまいります。

後継者不在や経営環境の悪化などを理由に廃業が増加傾向にある中、当所では年2回「創業セミナー」を開催して、創業支援、起業家育成に積極的に取り組んでいます。2回のセミナーはいずれも定員を超える受講者の応募があり、厳しい社会情勢の中にも創業に対する気運は高まってきていることが伺えますので、創業に向けて最後までフォローアップを継続して行つてまいります。

商工業の振興を図り、優秀な人材の育成、従業員の福利厚生

の充実を目的に、当所が毎秋、開催しております永年勤続従業員表彰式は、昨年69回目を迎えました。厳かなながらも晴れやかに挙行される式典では、商工会議所会頭表彰に加え、対象者には田川市長表彰、県知事感謝状も贈られるなど、従業員のモチベーション向上のみならず、雇用主としては単なる「感謝」の場にとどまらず、自社の理念や姿勢を明確に示す貴重な機会にもなっております。本表彰式も今年は記念すべき70回目を迎えますので、より多くの会員事業所のご参加をお待ち申し上げます。

当所では令和6年度に、新たな事業にも取り組みました。30年続いたデフレから脱却し、賃金が増え、経済が成長するためには、適切な価格転嫁と中小企業の持続的な賃上げが不可欠となることから、事業者の賃上げや価格転嫁に繋がる取組を専門的知見から支援する「賃上げ応援専門家」派遣事業を実施いたしました。また、中小企業、小規模事業者を対象に、価格交渉のスキルアップを目的としたセミナーも開催いたしました。

女性会においては、県内15商工会議所女性会を田川に迎えての意見交換会および合同講演会を実施開催いたしました。そして、講演会の講師に平成筑豊鉄道の河合社長を招いたことを機に、後日、県内女性会が集つて「ことごと列車」の貸切ツアーも実施されました。また、青年部においても、県内13商工会議所青年部を田川に迎えて、福岡県連事業の田川大会を実施開催いたしました。さらに本年2月には、日本商工会議所青年部の

全国大会が久留米市で開催されることに伴い、田川地域において分科会を企画して、全国から多くの青年経営者を迎える準備を進めています。

令和6年の世相を表す「今年の漢字」に「金」が選ばれました。パリオリンピック・パラリンピックが開催された年であり、日本勢の活躍が目立ち、多くの「金メダル」がもたらされたことが、たくさんの人々に希望と感動を与えました。また、20年振りに新紙幣が発行されたことも大きな話題となりました。そして、令和6年は年明け早々の地震に始まり豪雨災害といった自然災害も相次ぎ、被災地では復興のための募金や支援が集まり、多くの人々が「金」による支援を通じて絆を深めた一年でもありました。「金」は目に見える成功や富だけでなく、支え合いや挑戦、そして希望の象徴となる言葉であり、この漢字が選ばれた背景には、人々の前向きなエネルギーや、未来への願いが込められていると存じます。

田川商工会議所は、これからも関係各位の皆様のご協力をいただきながら役員職員及び事務局が一体となって邁進してまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭にあたり会員事業所皆様の益々のご発展とご健勝を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

新たな成長への飛躍の年に――



日本商工会議所
会頭 小林 健

明けましておめでとうございます。
2025年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年は内外ともに不透明かつ混沌の度合いが深まった1年でした。世界ではロシアによるウクライナ侵略の長期化に加え、中東情勢の悪化など、地政学的リスクが拡大しました。

また、経済面では米国経済が堅調さを維持する一方で、中国経済の停滞が懸念される年になりました。加えて、昨年は主要国で選挙が相次ぎ、米国では4年ぶりにトランプ氏が次期大統領に就任する結果となり、保護主義や自国第一主義の台頭に対する懸念が再び高まっています。

国内に目を転じますと、1月の能登半島地震や9月の奥能登

豪雨といった痛ましい災害に見舞われた1年でありました。また、秋の衆院選では与党が30年ぶりに過半数を大きく下回り、少数与党へ転じるなど政治的変動が生じる一方で、経済では、歴史的円安や物価高が続く中、設備投資は好調で日経平均株価も史上初の4万円台を記録しました。日本銀行はマイナス金利の解除に踏み切るなど、金融政策にも大きな転換点が訪れました。特に昨年は「賃上げ」をテーマとした1年でもあり、中小企業の賃上げ率も3%台半ばに達するなど、物価と賃金の好循環に向けた大きな一歩を踏み出した1年であったと総括できま

す。企業の自助努力とともに、官民を挙げた価格転嫁の取り組みが効果を示した結果でありま

すが、賃上げを行った中小企業の約6割が収益改善を伴わない中で、人手確保のための防衛的賃上げを迫られたことも事実です。賃上げのモメンタムをいかに持続可能な形に転換するかが、停滞から成長のステージに向けた今年の大きな課題となります。

成長の両輪は
中小企業の強化と地方創生

日本は経済立国であり、経済成長なくして将来はありません。デフレ脱却を確実にし、成長型経済への転換を進めるためには、GDPの6割を占める個人消費の拡大が不可欠です。その実現は、全企業数の99・7%、就業人口の約7割、地方部では約9

割を担う中小企業・小規模事業者の生産性向上と持続的な賃上げにかかっていると、いつても過言ではありません。成長の両輪の一つは中小企業であり、そのデジタル化、省力化投資を含めた設備投資、技術革新、知的財産の活用・保護といった生産性向上への不断の努力と自己変革によって付加価値を高め、賃上げ原資を生み出す必要があります。われわれ商工会議所は本年もこうした前向きな挑戦を続ける中小企業を全力で支援してまいります。また、労務費を含む価格転嫁対策のさらなる推進やBtoCでは企業側の「値を上げる勇氣」も必要です。消費者にも「良いサービス、良いモノには値が付く」という認識を持つていただき、国民全体のデフレマインドを払拭することも今年の大きなテーマであります。で、消費者意識の改革とともに経済環境の改善を目指していきたいと思っております。

く全力を傾ける年にしなくてはなりません。地域の経済インフラを担う中小企業および小規模事業者の強化は、地方創生の取り組みとも表裏一体です。政府・地方自治体には両者を成長の両輪と位置づけ、地域ごとの特性を踏まえた成長戦略の策定と実行を強く求めたいと思えます。われわれ全国515の商工会議所も地域経済の再生・活性化の先導役として、さらに活動を強化できる1年にしなくてはなりません。

大阪・関西万博の成功を
大きな成長の弾みに

本年4月には大阪・関西万博が開幕いたします。停滞から成長への転換点にあるタイミングでの開催は、象徴的かつ歓迎すべきことでもあります。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする20年ぶりの万博開催が、新たな未来をつくる起爆剤となるよう、全国の商工会議所一丸となって盛り上げてまいりましょう。わが国全体の未来に向けて成長に弾みのつく万博となることを切に願ひ、皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

たがわ元気再生振興券 使用期限・換金期限にご注意ください！



お客様より受け取られた振興券を今一度ご確認いただき、換金がお済みでない場合はお早めに換金くださいますようお願い致します。

使用期限 ▶ 令和7年 **1月31日(金)** 換金期限 ▶ 令和7年 **2月14日(金)**

換金日時 ▶ 毎週月・木(9時~12時・13時~16時)
(祝日の場合は翌火曜日) 換金場所 ▶ 田川商工会議所

期限後の換金には一切応じられませんのでご注意ください

換金条件 ▶ 各店舗1万円以上(振興券10枚以上)から換金受付いたします。
※令和7年2月3日~14日の間は1万円未満も受付いたします。
※令和7年2月12日~14日の間は毎日換金受付いたします。

換金手数料 ▶ **1%** ※会員事業所は、換金手数料がかかりません。

振込手数料 ▶ 商工会議所が負担  全て振込にて換金いたします。
現金換金はできませんのでご注意ください。

換金方法などご不明な点があれば田川商工会議所までお問合せください

TEL 0947-44-3150

中小企業経営者の
みなさまへ

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

- 1 経営者のための**退職金制度**
- 2 掛金は**全額所得控除**
- 3 受取時も**税制メリット**

他にもこんな特徴があります。

- 月々の掛金は1,000円から
- 契約者貸し付けの利用が可能
- 共済金の受給権は差押禁止

経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

- 1 掛金の10倍の範囲内で
最高8,000万円まで貸付け
- 2 貸付条件は
無担保・無保証人
- 3 掛金は税法上**損金(法人)**または
必要経費(個人事業)に

共済相談室 TEL.050-5541-7171 【受付時間】平日9:00~17:00

オンラインで
加入申込み
受付中

加入後の一部手続きもオンラインで可能。
制度の詳細内容は2次元コード又はホームページからご確認ください。

Be a Great Small.
中小機構

小規模企業共済

小規模共済

検索

経営セーフティ共済

経営セーフティ共済

検索



2024.9